

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第5部門第1区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2003-278567(P2003-278567A)
【公開日】平成15年10月2日(2003.10.2)
【出願番号】特願2002-79738(P2002-79738)
【国際特許分類第7版】

F 0 2 D 15/02
F 0 2 B 75/04
F 0 2 B 75/32
F 1 6 C 7/02

【F I】

F 0 2 D 15/02 C
F 0 2 B 75/04
F 0 2 B 75/32 A
F 1 6 C 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月8日(2004.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

ケーシング98は、ブラケット96に取付けられる椀状の第1ケース半体104と、該ケース半体104にかしめ結合される椀状の第2ケース半体105とから成り、ダイヤフラム99の周縁部は両ケース半体104, 105の開口端部間に挟持される。また負圧室102はダイヤフラム99および第2ケース半体105間に形成され、この負圧室102にはね100が収容される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

したがってエンジンの軽負荷時には小排気量、高圧縮比の運転とすることで高熱効率化を図り、図10の実線で示すように破線で示す従来のものに比べて図示燃料消費率を低下させ、燃費の低減を図ることが可能となる。また高負荷時には大排気量、低圧縮比とすることで爆発荷重および筒内圧力が過度に上昇しないようにして騒音および強度の問題が生じるのを回避することができる。

【手続補正3】

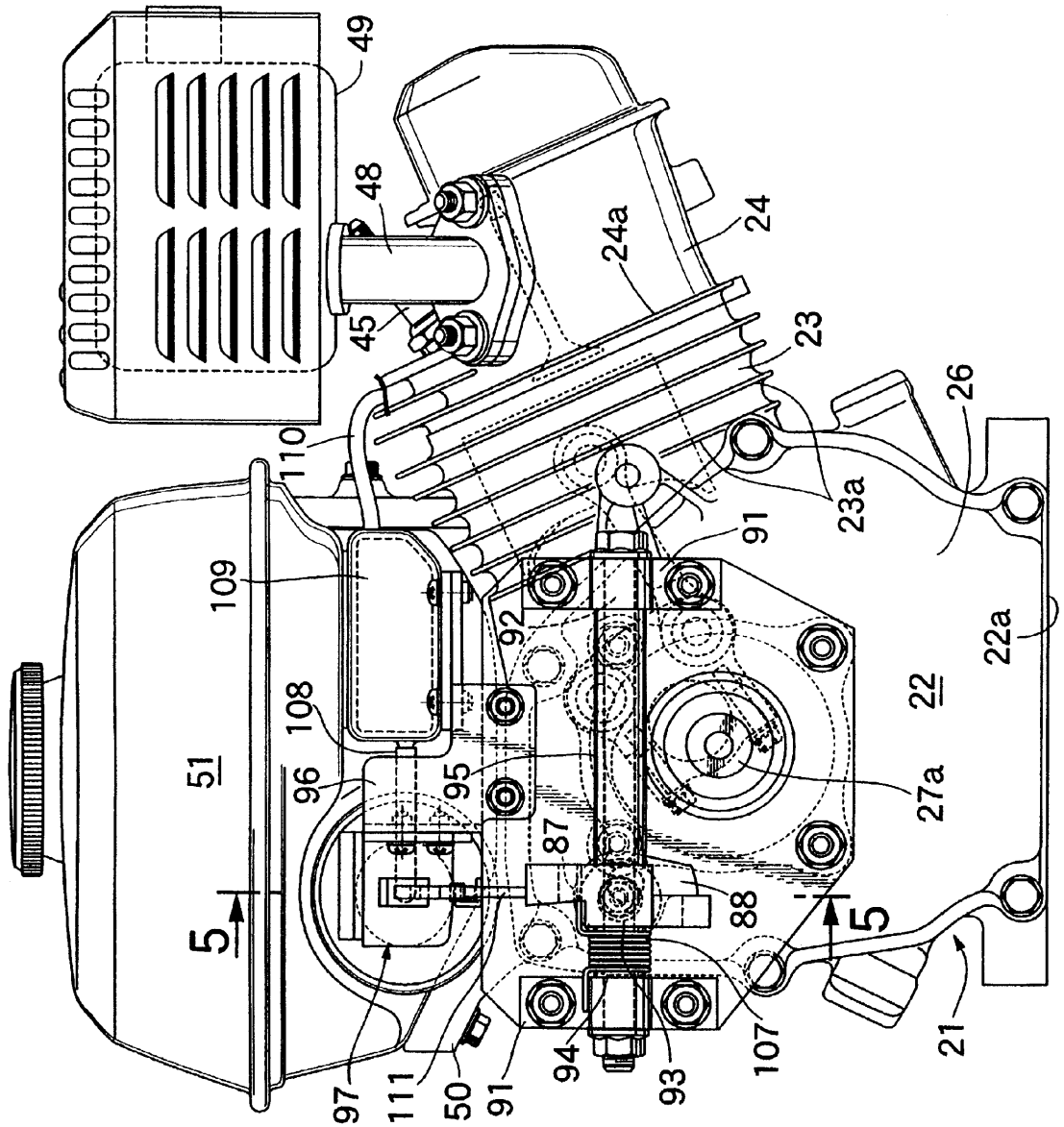
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

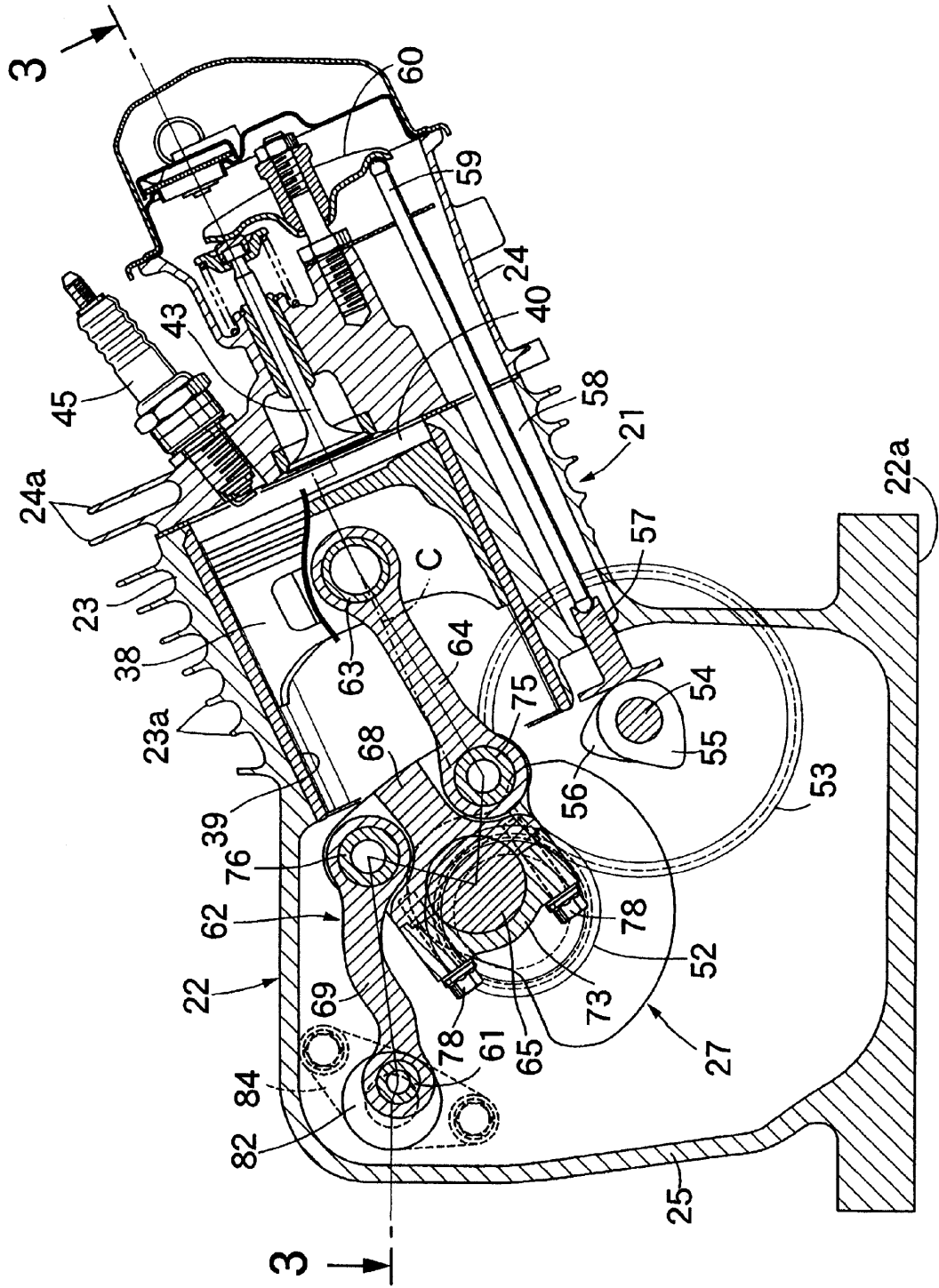
【補正の内容】

【 図 1 】



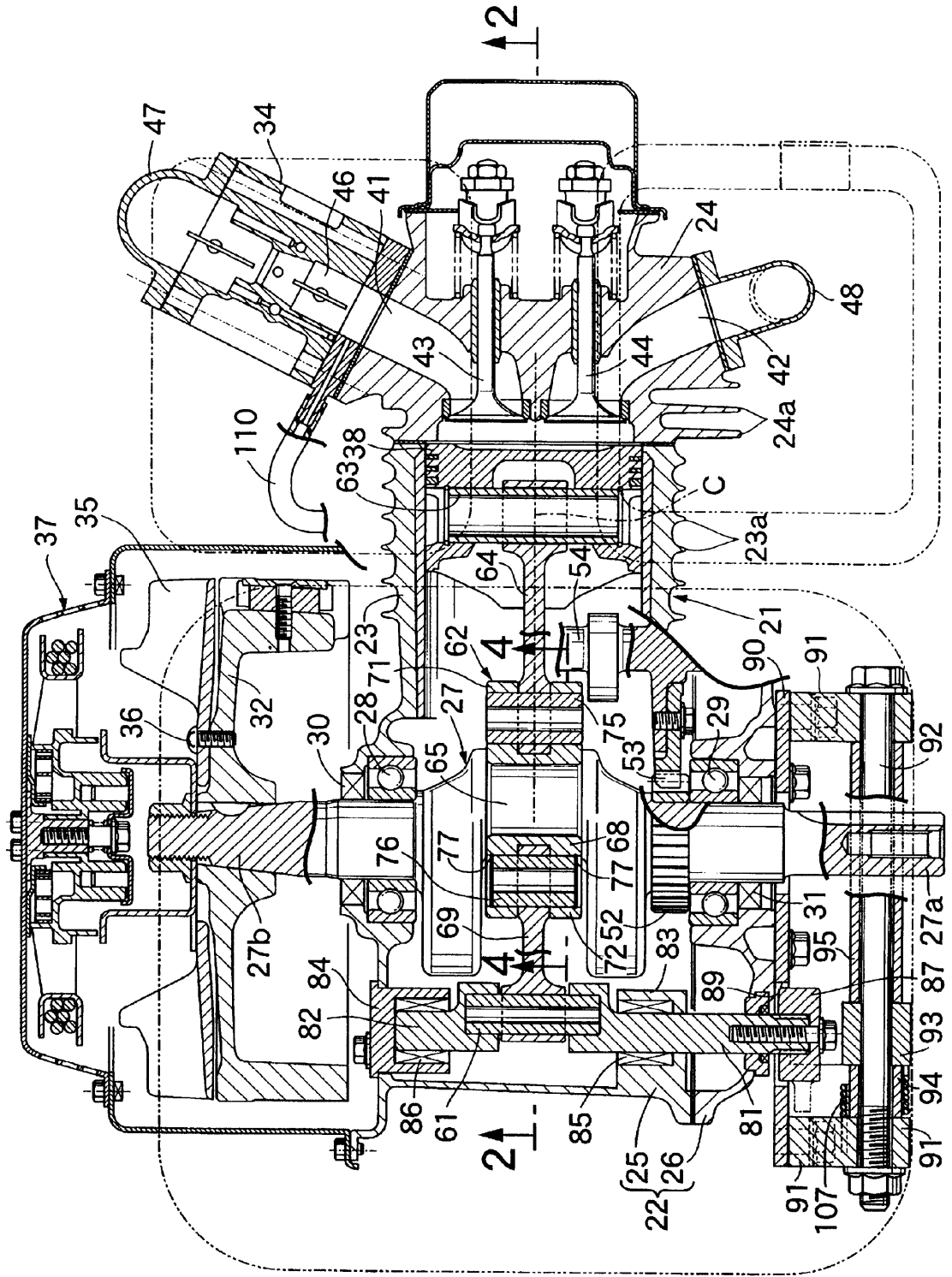
【 手続補正 4 】
【 補正対象書類名 】 図面
【 補正対象項目名 】 図 2
【 補正方法 】 変更
【 補正の内容 】

【 図 2 】



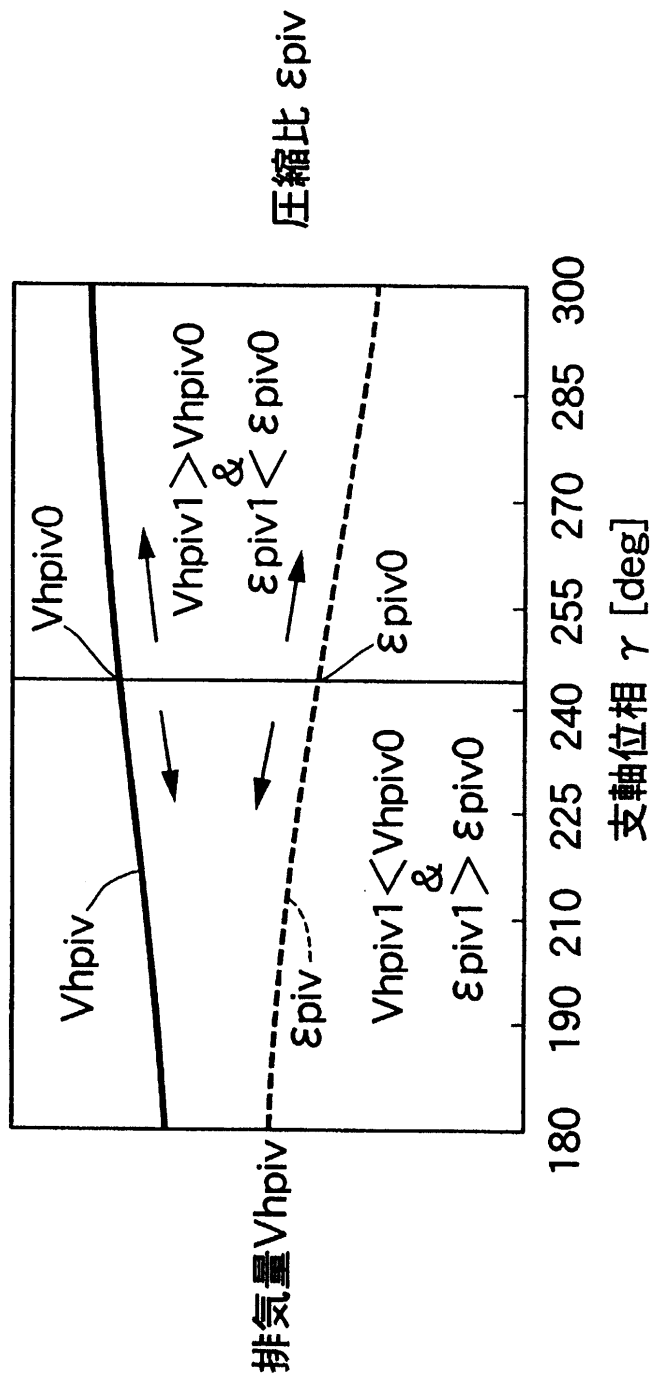
【 手続補正 5 】
【 補正対象書類名 】 図面
【 補正対象項目名 】 図 3
【 補正方法 】 変更
【 補正の内容 】

【 図 3 】



【 手続補正 6 】
【 補正対象書類名 】 図面
【 補正対象項目名 】 図 8
【 補正方法 】 変更
【 補正の内容 】

【 図 8 】



【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 1 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 1 4 】

